



## 園小連携について、思うこと

7月4日、鴨方西幼稚園で4・5歳児の公開保育がありました。昨今、幼稚園児がスムーズに小学校生活に入れるよう、園小連携の重要性が言われています。今日の公開保育には、小学校入学を見据えた保育の秘訣がたくさんつまっていました。公開保育の様子をご紹介しますとともに、園長兼校長の立場をもっと生かし、園の先生、小学校の先生の交流を大切に、園小連携を進めていきたいと改めて感じています。

### 【鴨方西幼稚園の公開保育の様子】

#### ①研究主題と公開保育の内容

研究主題： 幼児が「楽しい うれしい やってみたい」ことに会い、主体的に関わることのできる豊かな経験の場（保育活動）の充実

公開保育の内容： 「夏祭りごっこ」に向けて、自分の思いや考えを伝えあい友達と協力しながら遊びを進め、楽しむ姿（4歳児・5歳児の複式学級）

鴨方西幼稚園では、昨年までは、PTAの方が夏祭りのお店やお化け屋敷を制作し、園児はお客様として参加するスタイルをとっていましたが、今年、子どもたちが自分で考え、自分たちが作ってみたい遊んでみたいお店やお化け屋敷を作ってみることにしました。教師の支援のもと、「夏祭りごっこ」の共通イメージを持たせ、5歳児が4歳児をリードし、友達と協力しながら遊びを進めていけるように環境を工夫しました。

#### ②園と小学校との接続をスムーズにするために

- 来週月曜日に控えている、「夏祭りごっこ」のリハーサルの様子を公開しました。4・5歳児が、お店屋さん役とお客さん役に二手に分かれて、リハーサルを実施しました。
- 「お店のルール説明」に始まり、皆で「夏祭りごっこ」を楽しみ、最後には、しっかり「振り返りの時間」をとって、月曜本番に向けた改善点を話合いました。
- 5歳児が中心となって友だちと相談することで、年少（3歳児）・年中（4歳児）・年長（5歳児）が楽しめるような工夫が、お店に取り入れられていました（例：金魚すくいの高さ）。

お店のルール説明を前に立っている園児



友だちと相談→高さをかえた金魚すくい



しっかりお話ができています。

振り返りの時間は長めにとる